

# 「年末 新型コロナ雇用危機ホットライン」 を開設します！

【日程】 12月19日（土）～20日（日）10～20時

【電話】 050-5808-9835

主催：全国コミュニティ・ユニオン連合会（全国ユニオン）

新型コロナウイルスが世界中で猛威を振るっています。4月に発動された緊急事態宣言が6月に解除されてからは、経済活動が再開していますが、現在、これまで以上に感染者数が増加しています。

こうした中、11月26日には、全国で新型コロナウイルスの影響を受けた倒産が740件に及んでいるとの調査も発表されています（帝国データバンク 特別企画：「新型コロナウイルス関連倒産」動向調査11月26日（木）16時現在判明分）。また12月1日に発表された総務省の労働力調査（2020年10月分結果）では、就業者は6694万人、雇用者数は5998万人となり、いずれも新型コロナウイルスによる緊急事態宣言が発動された4月から7カ月連続で減少する一方、完全失業者数は215万人で9カ月連続で増加し、完全失業率（季節調整値）は3.1%と3%を超えました。

私たち全国ユニオンには、多くの労働相談が寄せられています。加えて今回のコロナ禍では、すでに職場に労働組合をつくり労使関係を継続してきた職場の組合員からも不安の声が寄せられています。このため、こうした働く人の窮状・不安に対応するため12月19～20日の2日間にわたり「年末 新型コロナ雇用危機ホットライン」を開設します。

【場所】 ユニオン運動センター会議室（〒160-0004 東京都新宿区四谷 4-28-14

パレ・ウルー5階 ユニオン運動センター内）

## 【現在の相談事例】

事例1：長年、ホテル配膳係として就業してきた。4月以降、シフトがなく、賃金も休業手当も支払われない。

事例2：スーパーの試食販売。3月から徐々に仕事が減り4月以降はまったくなくなったが、シフトを入れていなかったため休業ではないとして賃金も休業手当も支払われない。

事例3：中小の旅行代理店。4月の緊急事態宣言以降、交代勤務が続いている。主力はインバウンドと修学旅行。今年に入ってから、いずれも壊滅的で今後の経営状況が心配。

以上